

日本での交換留学

New South Wales 大学

ミシェル リ

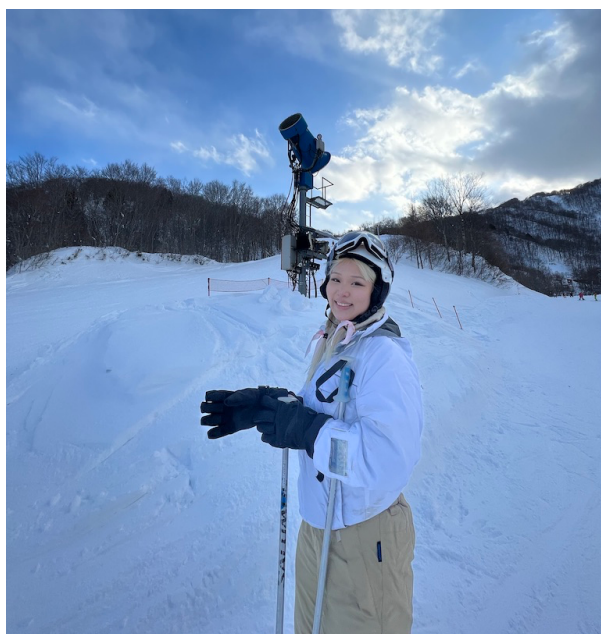
2022 年の 10 月から今まで、お茶の水女子大で交換留学しました。私の半年間の交換留学は、新しい友達を作り、困難を克服し、日本中を冒険するなど、わくわくするような経験でいっぱいでした。お茶の水での交換留学中、私は大学の授業と日本を探索する自由時間を楽しんでいました。お茶の水での 6 か月間の交換留学のために上京したことに対する不安とストレスは今でも覚えています。しかし、私はフレンドリー



な顔で歓迎され、すぐにここ東京に落ち着きました。しかし、東京での最初の 1 か月は、私にとって最も困難な時期でした。私のクラスはほとんどの交換留学生とは異なっていたので、他の交換留学生に会ったり、日本人の友達を作るとは非常に困難でした。しかし、松田先生との日本文化セミナーの後、さまざまな社交行事に参加したり、一緒に話したりした後、私は 2 人のとても良い友達を作ることができました。

10 月の 1 日東京に到着してから、すぐに授業が始めるので、少し大変でした。お茶の水での授業はとても楽しかったです！母校の方針により、言語以外の科目しか単位を取得できなかったのも、英語の科目を履修することにしました。キャロル教授の授業「労働とグローバリゼー

ション」と「地域開発」で非常に興味深いトピックについて学びました。これらはすべて、私の国際学の学位に関連しています。これらのクラスで私が最も気に入ったのは、学んだ内容についてパートナーと話し合う時間でした。どちらのクラスにも定期的にディスカッションパートナーがいて、現在の国際社会に関連する問題についての知識や個人的な意見を共有することができました。初めて日本に来た時、コミュニケーションが苦手な緊張しました。しかし、毎週の日本語の授業は本当に役に立ちました。教室をとて快適で楽しいものにしてくれたコウ先生と佐々木先生に感謝します！日本語を学ぶのはとても楽しかったし、10月に来てから日本語が上達したと感じています。また、先生方の授業はいつも面白く、面白い授業を教えてくださいありがとうございます。先生の授業でたくさんのことを学び、少しずつ日本語が話せるようになりました。



上京する前は、東京の生活に慣れ、寮で一人暮らしをすることが一番の不安でした。日本での生活で最も困難だったのは、時間を管理することでした。今年の初めから、偏頭痛と免疫力の低下に苦しんでいます。お茶の水での新しいスケジュールに慣れるまでのストレスと混乱のせいで、私はしばしば気分が悪くなったり、疲れたりしました。オ

ー스트ラルアの冬は日本の冬とは比べ物にならないので、寒い気候への移行もかなり大変でした。その結果、天候が変わると病気になるので、いくつかのクラスを欠席しました。



お茶の水に在る間、週末に友達と東京のたくさんの場所を探検しました。好きな場所は原宿、表参道、下北沢、渋谷です。私の冬休みはとても楽しかったです。冬休みの最初の週には白馬に行って、スキーをしました。白馬は雪に全部雪に覆われていました。とても美しく夢のようでした。スキーはとても楽しいけど、とても難しかったです。スキー最終日、誤ってコースを外れて山から転落しました。

最後にお茶大の人々に感謝したいです。指導教員のカーロル先生は毎月の振り返りシートを確認してくださってありがとうございました。萩原先生には、私たち全員が軌道に乗るように一生懸命働き、必要な情報を提供していただき、ありがとうございました。国際課の皆様、手続きありがとうございました。音羽の運営事務局には、いつも私が質問したときに助けてくれて、特にニーナさんには、寮での最初の数か月間、私に気を配ってくれて本当にありがとうございました。